

小児急患メモ

まず最初に『#8000』

夜間のお子さんの急な体調変化に困ったら、まず最初に#8000へ電話をしましょう。小児科医師や看護師がお子さんの症状に合わせて受診の必要性を判断します。

Q.小児急患診療を受けられる年齢は？

A.0歳～中学生のお子さんが対象です。それ以外の方は大人の救急電話相談#7000または本号16頁の24時間対応の医療機関案内をご利用ください。

Q.実際に診療を受けるには？

A.お子さんの状態を医師にわかりやすく伝えられるように、体温や状態をまとめておきましょう。メモを取ることで医師に伝えるべき情報が整理できます。

深夜帯は、来院前に小児急患診療☎2992-1151までご連絡ください。事前に医療体制を整え、スムーズな対応が可能になります。

小児急患診療に持っていくもの

- 受診券
- 保険証
- 子ども医療費受給者証
- お薬手帳
- 乳幼児の場合はオムツ
- 吐き気のある子は着替え
- 子どもが落ち着くもの(お気に入りのタオルや人形など)

子どもを持つ親にとって、子どもの急な体調変化は怖いもの。特に、かかりつけの病院が閉まっている夜間や休日の体調変化に困った経験がある方も多いと思います。そんな子どもをいざというときに、対応するため、市民医療センターには子どもの急な発熱や腹痛などの軽症な内科疾患に対する応急治療を実施しています。

◆「なぜ応急治療なの？」
それは子どもの症状をきちんと把握できるのは、普段その子を診療しているかかりつけ医だからです。そのため、市民医療センターでの小児急患診療は、かかりつけ医の診療を受けるまでのつなぎの処置と考えられています。

このように、大切な子どもを守るため、所沢市医師会、地域の大学病院、薬剤師会などの皆さんと協力し、365日医療を提供できる体制を整えています。



小児科・山本幸一理事

小児急患メモを切り取って見やすい場所に貼っておこう！



小児急患診療の受付時間は本号16頁をチェック！



1 元気になった子どもたちからの手紙 2 患者さんの声が一番の励みになります

「市民医療センターって普通の病院と同じなの？」 「どんなことができるの？」 「夜間も対応しているの？」 などの疑問にお答えします！

診療も健診も！ 市民医療センターにお任せ！



市民医療センターは、市民の皆さんに信頼して受診していただける地域に根差した病院を目指し、入院・外来診療や健康検診事業を行っています。

内科は、入院・外来診療の他、輪番制による二次救急医療も実施しています。また、地域医療機関と連携して、患者さんの入院院が円滑にできるよう「地域連携室」の専門スタッフがさまざまなお手伝いをしています。

小児科は、平日昼間の外来診療に加えて、小児夜間・深夜、日曜日・休日の急患診療など、子どものいざというときの初期救急医療体制の整備と安定的な運営に努めています。

健康検診事業は、人間ドックの基本検査項目だけでなく、オプション検査の充実にも力を入れています。ぜひご利用ください。

※二次救急医療：入院治療を必要とする重症患者への診療のこと。命に関わる重症患者は二次救急医療に該当します。

市民医療センターってどんなところ？ 市民の健康といのちを守る 市営の病院です



市民医療センター 藤塚 聡センター長

早期発見・早期治療 元気な今こそ 受けよう人間ドック

現在の健康状態を客観的に確認でき、自分では気付かない隠れた病気を見つけて出せるのが人間ドックです。

市民医療センターで行う人間ドックには「人間ドック日帰りコース」と、糖尿病などの生活習慣病に特化した「生活習慣病コース」の2コースがあります。両コースともに、日本人のがん部位別死亡上位を占める胃がん検査(胃レントゲン検査)と大腸がん検査(便潜血検査)が基本検査項目に含まれています。

基本検査の他、肺がん・前立腺がん・乳がんなどのがん検査、CT内臓脂肪測定・血圧脈波検査といった生活習慣病を予防するための検査など、多くのオプション検査を用意しています。ぜひ基本検査に追加してみませんか？

「すべてにまで精密検査が必要なら結果だけならどうしよう…」と心配な方も安心ください。早急に



健診グループ 齋藤直美 先生

専門医療機関を受診する必要がある場合、その日うちに電話でご連絡をするなど、迅速な対応ができる体制を整えています。

また、市民医療センターで精密検査が可能な項目は、電話で検査予約を受け付けています。電話で予約することで、外来診療を受けずにスムーズな検査が可能です。

その他、専門スタッフが結果の問い合わせに対応したり、精密検査の受診を勧める手紙を郵送したり、人間ドック受診後のサポートにも力を入れています。

自分の健康状態を把握し、いつでも健康な体でいるために、定期的な受診をおすすめします。

おすすめオプション検査

乳がん検査 料金5,616円(税込み)
乳がんは現在、日本で女性がかかるがんの中で1番多いがんです。月に1度、ご自身で触ってしこりがないかをチェックすること、定期的な乳がん検査をおすすめします。
マンモグラフィ撮影は、しこりとして触れない段階の乳がんの早期発見が期待できます。女性の技師が撮影を担当します。不安な事があれば検査の際に遠慮なくご相談ください。

放射線科 星野友香 技師(左)
大泉景子 技師(右)

前立腺がん検査

前立腺がん検査 料金2,160円(税込み)
前立腺がんは早期ではほとんど無症状のため発見が遅れることがありますが、他のがん同様、早期に発見できれば治る可能性が高くなります。
前立腺がんの検査は採血で手軽に行えるため、前立腺がんにかかったことのあるご家族がいる方は40歳から、それ以外の方は50歳からの検査をおすすめします。

臨床検査科 小竹琢仁 技師



じっくり患者さんの声に耳を傾けます(内科・東 賢治 医師)

	受付時間	月～金曜日	土・日曜日 祝休日
内科	午前8時～11時	○	×
小児科	午前8時～11時	○	×
	午後1時～4時	○	×

▶午前の診療は、午前8時30分から開始です。
▶午後の診療は、午後1時30分から開始です。

市民に寄り添う 地域に寄り添う 身近な病院としての利用ください

外来診療の科目は、内科と小児科です。日頃、赤ちゃんから高齢の方まで幅広い年代が利用しています。

内科には、糖尿病・代謝内科や内視鏡内科、循環器内科などを専門とする医師が在籍しているため、診察時に患者さんの症状に合った最適な診療が可能です。

もし、自分自身や家族が病気で入院することになったり、介護が必要になったりしたとき、誰もが「いつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活を続けたい」と願うのではないのでしょうか。

地域連携室は、市民医療センターの患者さんに対して、入院から退院までの手続き、退院後のかかりつけ医などの医療機関との連携、介護サービスの利用案内など、医療・介護が切れ目なく利用できるようお手伝いをしています。

市民医療センター利用時に、入院や介護について少しでも不安がある方は、まず医師や看護師にご相談ください。

地域連携室

- 「こんなときは医師や看護師、地域連携室にご相談ください」
- ▶ 外来通院中の方
 - 足腰が弱ってきたので介護用ベッドのレンタルや、入浴サービスを利用したい
 - 介護保険の手続きとサービスをご案内します
 - 歩けなくなってきたり外れに通えない
- ▶ 往診医と連携して在宅医療への移行を支援します
- ▶ 入院中の方
 - 入院費の支払いが心配
 - 医療費の負担軽減制度をご説明します
 - 退院後にリハビリを受けたい
 - 患者さんの体の状態に合わせてリハビリ病院や施設、訪問リハビリなどを紹介します

患者さんからの手紙(抜粋)

「入院時は一時どうなることかと不安の日々が続きましたが、看護師の方々が患者目線で物事を判断し、細かい配慮と笑顔で接していただいたおかげで、無事退院することができました」



患者さんと地域の橋渡し役、それが私たち地域連携室です。

患者さんは年齢も症状も環境もさまざまですが、それぞれの方に合った最適な選択肢をご提案することを目指して、患者さんや関係機関との関わりを大切にしています。

「相談できてよかった」という言葉を励みに、今後もきめ細やかな対応を目指していきます。

地域連携室 関原よし子 室長

予約はこちらへお電話ください 人間ドック受付専用(土・日曜日、祝休日除く) Tel 2998-2081

コース	自己負担額(税込み)	
	一般	所沢市国民健康保険加入者(35歳以上) 後期高齢者医療制度加入者
生活習慣病コース	23,760円	8,760円
人間ドック日帰りコース	38,880円	22,380円

各コース所要時間は約3時間です
3・4・5月が比較的スムーズに受診できます

わかりやすい診断結果表を基に日々の食生活を直すきっかけに！

健康利用者を対象に、管理栄養士や保健師が生活習慣病と食事に関する改善点を探り、一人一人に合わせた食事診断を行います。診断結果の通知は郵送と面接が合わせて予約してください。

郵送 4,320円(税込み)
面接 8,640円(税込み)

受診された方に安心と笑顔を提供できる 地域に根差した病院として頑張ります！

